

大谷學報

第六十一卷 第一号

昭和五十六年六月三十日発行

仏智不思議の世界……………白井 元成 (1)					
—— 不断煩惱得涅槃 ——					
浴 佛 と 行 像……………滋賀 高義 (13)					
—— 佛教信仰の一面について ——					
孔 子 と 異 相……………若槻 俊秀 (24)					
シュライエルマッハーの					
宗教と生死の問題……………築山 修道 (34)					
昭和五十五年 度 修 士 ・ 卒 業 論 文 題 目 一 覧……………(48)					
昭和五十五年 度 寄 贈 交 換 誌 目 録……………(63)					
彙 報……………(72)					
ウオーミングアップ時の					
生体反応に関する基礎的研究……………瀬戸 進 (1)					

大 谷 大 学

大 谷 学 会

大谷学報 第六十卷 第四号

大谷大学研究年報 第三十三集

吉蔵の二諦義……………三桐 慈海

親鸞の袈裟観……………大門 照忍

鳳潭の『扶桑續入總目錄』について……………高橋 正隆

『今昔物語集』の悪人往生説話……………石橋 義秀

梁代貴族佛教の一面……………大内 文雄

『皇太子聖徳奉讃』恵空書写本考……………本井 信雄

〈書 評〉

有田静昭著『子規歌論の発展と継承』……………吉江 久彌

大谷学会研究発表会要旨

博士學位論文審査要旨

鹽から見たる中國古代史……………佐伯 富

キルケゴールとニーチェ……………大屋 憲一

——その「生成」の問題——

現代社会における祖先崇拜の研究……………高橋 憲昭

U・S・Aの「カメラ・アイ」

(39)、(42)、(46)、(50)、(51)評釈……………広瀬 英一

THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

CONTENTS

Articles :

The Inconceivable World of Buddha-Wisdom*Genjō Usui* (1)
—The Attainment of Nirvana
without Severing Evil Passions—

Ablution and Parading of the Buddha Image*Takayoshi Shiga* (13)
—Aspects of Buddhist Faith—

Kong-zi (Confucius) as a Divinity*Toshihide Wakatsuki* (24)

Schleiermachers Religion und das Problem
des Lebens und Todes*Shūdō Tsukiyama* (34)

Physiological Reactions of Warming up
before Physical Exercise*Susumu Seto* (1)

Miscellaneous

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY
OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN

大谷学会規程

第一条 大谷大学に大谷学会を置く。

第二条 本会は真宗学・仏教学・哲学・社会学・史学・文学、その他の學術研究と発表をおこなうことを目的とする。

第三条 本会は前条の目的を達成するため、左の事業をおこなう。

一、季刊「大谷学報」の発行

二、「大谷大学研究年報」の発行

三、研究会及び公開講演会の開催

四、その他必要なる事業

第四条 1、本会は大谷大学大学院・文学部並びに短期大学のすべての教育職員及び学生をもつて会員とする。
2、前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認されたものは、会員となることができる。

第五条 本会に左の役員を置く。

一、会長
二、委員
三、監事

第六条 会長には大谷大学学長が当り、会務を統理する。

第七条 1、委員は十名とし、教授会において互選する。

2、委員は企画・編集・出版等の会務を掌理する。

3、委員の任期は二年とする。但し再任をさまたげない。

第八条 1、監事は二名とし、教授会において互選する。任期は二年とする。

2、監事は本会の会計を監査する。

第九条 会員は本会の出版物にその研究を発表し、「大谷学報」並びに「大谷大学研究年報」の配布を受け、本会主催の会合に出席することができる。

第一〇条 会員の会費は年額金四千元とする。但し、学生会員は弐千元とする。

第一条 1、本会の経費は会費をもつてこれに当てる。
2、本会の必要経費については、助成金を受けることができる。

第二二条 本会の事務は、教務課の所管とする。

第一三条 この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。

附則 1、この規程は昭和五十六年四月一日から施行する。

2、昭和三十七年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

大谷学会役員

委員 岩見 至 大屋 憲一

桜部 建 高橋 憲昭

友田 孝興 名畑 崇

広瀬 英一 福島 光哉

箕浦 恵了 山本 唯一

昭和五十六年六月三十日発行

大谷学会

編集兼 大谷学会
発行者 訓 覇 嘩 雄

印刷者 西 村 明

京都市北区小山上総町
大谷大学内

発行所 大谷学会

振替 京都 一八三九三番
電話 (〇七五) 四三三—三三一代
郵便番号 六〇三